

野菜のプランターづくりの土と容器

Q. 野菜のプランター栽培をはじめたいと思います。どんな土と容器を用意したらよいでしょうか？

A. 土は水はけと通気性がよく、肥料もちのすぐれたもの、容器は自分が持ち運べるものを選びます。

<ポイント>

- 1 よい水はけと通気性：根腐れを心配せずに水をたっぷりやれます。
- 2 適度な水もちと肥もち：プランターは乾きやすく、肥料が抜けやすいので注意します。

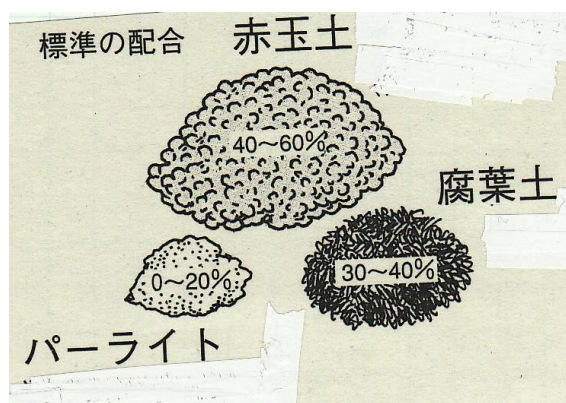
(A) 土

1)自分で配合する場合

赤玉土（40～60%）…基本の土

腐葉土（30～40%）…水はけ、通気性がよく土の微生物を増やす。

パーライト（0～20%）…通気性と保水性を高め軽量化する。



2)市販の土

各用土がバランスよく配合された良質のもの。

(肥料入りの場合は栽培初めに元肥をやらないこと)

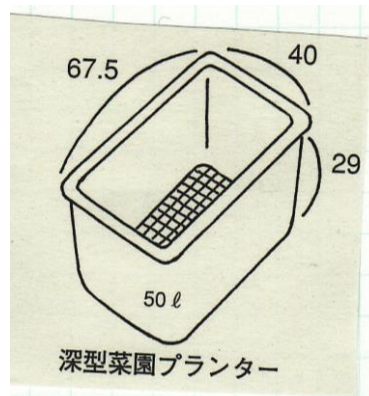
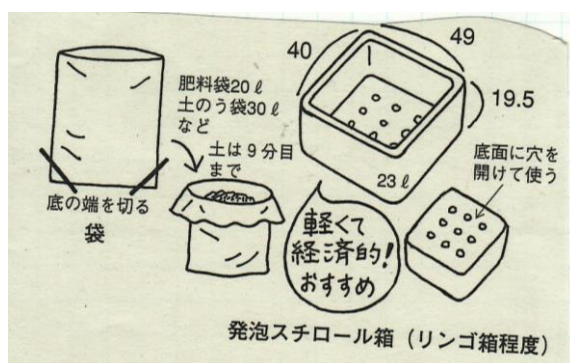
(B) 容器

1)プランター

果菜類や根菜類には深さ30cmくらいの深型がよい。

2)廃材の利用

肥料袋やスチロール箱



アジサイ アナベルの育て方

Q. 花房の大きなアメリカンアジサイ ‘アナベル’ の育て方を教えてください。

A. ‘アナベル’ は毎年春に地際から伸び出した枝の頂部に花を咲かせるので育てやすい花木です。

<ポイント>

アジサイ ‘アナベル’ (ハイドランジア アルボレスケンス ‘アナベル’) 北米原産のテマリ咲き品種で、高さ80~150cm、葉の長さ10~25cm、幅5~15cm、花房の大きさは径15~20cm、装飾花の大きさは径1~2cm、6~7月咲きです。

1 性質

アジサイの仲間では唯一の花が本年枝の頂部につく種類です。そのため、冬に枝が枯れても、春に強剪定しても開花します。花色の変化がなく、土や日当たりによって左右されずに純白を保つこと、花つきのよいことに加えて樹高を小さくしても問題なく花が咲くことが特徴です。最近、桃花の品種も販売されています。

2 育て方

堆肥や腐葉土などを多く含む保水性の高い、半日陰のところが適地です。さらに、株元にバークなどを厚めに敷いて土の乾燥を防ぎます。耐寒性は強いほうです。枝は細くて柔らかく、冬に地際まで枯れるので12月以降に地際から切り取り、早春に油粕を施します。ふつうのアジサイのように花後の剪定をすると、花の重みで枝が垂れるほどの大きな花が咲きます。

定植は2~3月、または11~12月にします。また、3~4年おきに植え替えをしてやるとよいでしょう。病虫害は少ないようです。

